

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第193号 2020年6月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** ヤゴ救出作戦が行われました ***



6月2日(火)に磐田市立田原小学校3年生50人が、5日(金)には磐田市立向笠小学校3年生23人が「プールのヤゴ救出作戦」を行いました。両校とも長年にわたりこの行事をプール掃除の前に3年生が総合的な学習の時間で行っています。

ビジターセンターの職員や学年の先生から説明を受けた後、子どもたちはひざの高さくらいまで水が抜かれたプールの中に網を持って入り、底に溜まった泥や落ち葉の中からヤゴを救出しました。シオカラトンボやショウジョウトンボ、アキアカネなどのヤゴ数百匹を救出することができました。子どもたちはヤゴを教室や自宅で飼育します。飼育を通して子どもたちは命の大切さや生命の神秘を感じることでしょう。ヤゴは夏休み前後に羽化します。

ヤゴの飼育について

- 入れ物:** 水そうなどまわりがつるつるしたもので、底に泥を入れヤゴがかくれる石や鉢のかけたものをのせる。
- 水:** 川や池の水、雨水がよい。水道水を使う場合は一日以上放置したものを使う。
- エサ:** アカムシ、イトミミズ、ポウフラなど
* 生きているものしか食べません
- その他:** 水草を入れると酸素の供給や水の浄化に効果がある。
棒をたてるなどヤゴがつかまって休む場所を作る。



救出されたヤゴ

*** 桶ヶ谷沼観察路で見つけた動物 ***

5月下旬桶ヶ谷沼や観察路で
カモシカに出会いました。



「カモシカ」はシカという名前が入っていますがウシ科の動物でヤギの仲間です。群れをすることはほとんどなく単独で行動することが多いです。オスにもメスにも後ろ向きに伸びる15cmぐらいの短い角がはえています。斜面のある森林にすみ、低い木の葉や芽、小枝、実を食べています。天然記念物に指定されています。おとなしい性質で、しばらくしたらいなくなりました。

6月の桶ヶ谷沼でみつけたトンボたち



- 1 「コシアキトンボみ」腹部の3～4節に白っぽい斑があり、いわゆる腰の部分がないように見えるのが名前の由来です。
- 2 「ショウジョウトンボみ」オスは鮮やかな赤い色をしています。アカトンボの仲間（アカネ属）ではありません。
- 3 「チョウトンボみ」チョウのようにひらひらと飛ぶトンボで、翅は全体的に黒っぽい。オスの翅の色は青紫色に輝きます。
- 4 「ベニイトンボみ」オスの体は全身真っ赤になります。メスはオレンジ色っぽいです。
- 5 「キイトンボみ」全身が鮮やかな黄色（メスは黄緑色）でオスは腹部の先端が黒くなっています。
- 6 「モノサシトンボみ」腹部の青白い環状斑が定規のモノサシのように見えるのが名前の由来です。

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が解除されました。例年実施している「調査会」や「観察会」等のイベントの日時や内容の検討を進めています。詳細が決まりましたら「桶ヶ谷沼ビジターセンターだより」や「ホームページ」でお知らせします。